

[教職員]

回答人数	96	回答率	89%
------	----	-----	-----

区分	評価項目	
小学部	1-1	集団活動における学び合いやその手立て、評価方法などを工夫する視点から授業づくりについて話し合い、改善を図りながら授業実践を進めることができたか。
中学部	1-2	障害や個人の特性、生徒を取り巻く環境に配慮しながら、自己肯定感や自己有用感、それに基づく社会性を育てる指導や支援ができたか。
高等部	1-3	社会へのつながりを意識しながら授業実践に取り組めたか。
教務	2	教員用の教科書・指導書棚は教科指導充実のため活用しやすいよう工夫されていますか。
総務	3	保護者対象の各種研修会や学習参観は円滑に運営されていたか。
メディア教育	4	ICT機器活用の際にトラブルや悩みの解決にメディア教育部のサポートは有効だったか。
研究部	5	児童生徒が指導者や友達と関わりながら学びを深めるために、授業研究や部現教に取り組む、有効な支援を考えながら実践をすることができたか。
人権同和	6	現地研修や校内職員研修、人権・同和教育だより「青空」を通して、人権について考えたり、新たな知識を得たりすることができたか。
生徒指導	7	登下校時の安全や、ルールやマナーを身に付けるための取組ができたか。
進路指導	8	「職員研修」では、卒業後の就労における動向や福祉サービスの選択方法や活用、本校の進路状況等について情報提供ができたか。
保健美化	9	熱中症対策や緊急時の対応についての研修は、児童生徒や教職員の体調管理の意識づけを図ることができたか。
学びと育ちの相談センター	10	公開研修会や連携訪問事例検討会等を通して、発達障害についての理解も含め、実態把握や指導・支援につながる知識を得ることができたか。
学校行事	11	運動会や学校祭などの各種行事では、児童生徒にとって意義のある企画・運営ができたか。
いじめ	12	いじめの防止や早期発見、早期解決のために適切な対応がとれているか。
SB	13	スクールバスは安全に運行されているか。
総計		

